



© Forum21 Kinderchor



© Claus G. Riedel

フォーラム21少年少女合唱団 Mädchenchor Hannover ジョイントコンサート

～ハノーファー少女合唱団を迎えて～

2017 10.8. [日]

18:30 開演 [18:00 開場]

アイプラザー宮 愛知県一宮市若竹3-1-12

入場料 1,000 円 [全席自由]

出演

- ◆フォーラム21少年少女合唱団
大平健介(指揮) 名田綾子(ピアノ)
今木智彦(指揮) 前田祐里(ピアノ)
高松亜衣(ヴァイオリン)

- ◆ハノーファー少女合唱団
Gudrun Schröfel
Andreas Felber

主催 フォーラム21少年少女合唱団
後援 公益社団法人一宮法人会 青年部会/尾西信用金庫
ウェブサイト <http://forum-21.net>
お問い合わせ info@forum-21.net

画 伊藤真理衣



フォーラム 21 少年少女合唱団

1991年10月、愛知県一宮で結成される。合唱音楽により子供たちの自由で豊かな感性を養い、国際交流などを通じて個性ある人間性を育むことを目的としている。これまでに、作曲家の池辺晋一郎、新実徳英、鈴木輝昭、中川いづみ各氏に自作曲を指導・指揮していただき、2007年にはソプラノ歌手藍川由美氏、2014年にはテノール歌手佐野成宏氏と共演する機会にも恵まれ、異色の共演としては2008年、落語と合唱のための『叩き蟹』を三遊亭圓窓師匠と名古屋・東京・一宮で公演し好評を博した。また、2006年、2008年にNHK東京児童合唱団と共演、2015年にはクロネコヤマトファミリーコンサートに出演し名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。海外では、1995年ウィーン、1999年イギリス、2006年オーストラリア、2013年ドイツにて演奏会を開催。

代表：宇野桂司、指導：藤原順子（声楽）、金森眞由美（ピアノ）、佐藤由美（ピアノ）、宮木令子（声楽）
ウェブサイト：<http://forum-21.net>

ハノーファー少女合唱団

ハノーファー少女合唱団は、世界で最も高い評価を得ている青少年合唱団の一つであり、ヨーロッパ諸国、アメリカ、イスラエル、ブラジル、チリ、日本、中国など多くの国で招待演奏を行っている。設立者ルートヴィヒ・ルトの後継者であるグトルン・シュレーフェルが長年指導してきたが、2017年よりアンドレアス・フェルバーも指導に加わり、両教授のもと精力的に活動している。これまでにドイツ合唱コンクール、ブラームスコンクール等多くのコンクールで上位入賞を果たしている。2014年の第9回ドイツ合唱コンクールでは、その際立った合唱により優勝に輝いた。本合唱団は現在、コンサート・CD録音・テレビ・ラジオ界において、児童・青少年・女声合唱団にとっての新スタンダードを確立している。リリースしたCDもすでに20枚を超え、レパートリーは伝統的な作品から前衛・実験的音楽におよぶオリジナル作品を有し、細川俊夫、ヴィルヘルム・キルマイヤー、アルヴォ・ペルト、シュテッフェン・シュライエルマッハーをはじめ、多くの著名な現代音楽の作曲家たちが曲を献呈し、また委嘱作品を提供している。楽譜に忠実な音の再現・歌唱の均一性はもちろんのこと、確立された合唱スタイル・表現の豊かさ、ソプラノのリラックスした最高音域と力強いアルトの低音は、繊細な旋律を損なわずに魅惑的な音楽を作り出している。ハノーファー市紋章、ベルンハルト・シュプレングエル音楽賞、ニーダーザクセン文化賞を受賞している。
ウェブサイト：www.maedchenchor-hannover.com



大平健介（おおひら けんすけ） オルガニスト・指揮者

東京藝術大学および同大学院卒業。DDAAD(ドイツ学術交流会)給費留学生として2010年秋より渡独。2013年、ヴェルツブルク音楽大学オルガン科マイスター課程、2015年、同大学教会音楽科を卒業。平成25年度、文化庁新進芸術家海外研修員。2010-2015年、ヴェルツブルクバッハカンタータクラブ音楽監督。2016年、ION ニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝。同年夏よりドイツを拠点にヨーロッパを巡るコンサートツアーを開始。これまでにオルガンを浅井寛子、廣野嗣雄、鈴木雅明、廣江理枝、C.ボッサート、B.ハースの各氏に師事。現在はシュトゥットガルト、シュティフト教会にてオルガニスト / 指揮者 / 音楽アシスタントとして幅広い活動を展開している傍ら、ミュンヘン音楽大学修士課程現代音楽科、及び教会音楽科に在籍中。シュトゥットガルト在住。



名田綾子（めいだ あやこ） 作曲家・ピアニスト

兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学院修士課程修了。作曲を長谷川京子、藤原嘉文、澤内崇、林達也、小鍛冶邦隆の各氏に、ピアノを菅千種、林敦子、成瀬修、中井正子の各氏に師事。カワイ出版より「日本の四季めぐり」「イタリア歌めぐり」「フランス歌めぐり」「いのち」「歌は繋いだ手のように」等多数の合唱作品を出版。フォーラム 21 少年少女合唱団とは2011年より毎年作曲作品を初演する他、2014年のThe Premiere Vol.3、2015年の関西学生混声合唱連盟定期演奏会などで合唱作品が初演されている。2017年5月に東京六大学混声合唱連盟定期演奏会にて六大学合同ステージ委嘱作品「手から、手へ」を初演予定。ヤマハJOCスタッフ・創作講座講師として全国各地で講座を行う。現在、東京藝術大学非常勤講師。



今木智彦（いまき ともひこ） ファゴット奏者・指揮者

大阪府出身の指揮者、ファゴット奏者。東京芸術大学、同大学院を経てスイス・ドムズ財団奨学金を授与され2013年カールスルーエ音楽大学大学院修了。ファゴット奏者としては、大阪国際音楽コンクール他入賞、武生国際音楽祭を始め数多くの音楽祭、(財)地域創造主宰公共ホール活性化アウトリーチフォーラムなどに参加。Freundenkreis - フロインデンクライス - 室内楽コンクールにてトリオ・ダンシュで優勝、2011年、ユーディ・メニューイン財団“ライブ・ミュージック・ナウ”参加など、内外で幅広く活動している。また指揮者としては、ジャパン・アカデミー・フィルハーモニックをはじめ、名古屋室内管弦楽団、センチュリー室内管弦楽団などに登壇、アマチュアのオーケストラや吹奏楽、合唱の指導にも力を注いでいるほか、バロック・古典の演奏法の講座、ピアノ指導者・生徒向けの管楽器を用いたフレージングや呼吸法のワークショップの講師や、コンクールの審査員として各地から招かれている。



前田祐里（まえだ ゆり） ピアニスト

3歳からピアノを始め、8歳でフランス・パリのサルプレイエルで自作曲を演奏。名古屋市立菊里高等学校音楽科を卒業と同時に渡独しマンハイム音楽大学を首席で卒業し同大学院を修了、またドイツ国家演奏家資格を取得。2013年に帰国するまで10年をドイツで過ごす。2008年にイタリア・ミラノでリサイタルデビューを果たし、ドイツ、フランス、イタリア、スロヴェニア、クロアチア等で演奏。また、ラインラントプファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団やバーデンバーデンフィルハーモニー管弦楽団を始め様々なオーケストラと共演する。2014年NHK-FMリサイタルノヴァ出演、同年CDデビュー。現在は日本を拠点とし、演奏はもちろん後進の育成にも力を入れている。



高松亜衣（たかまつ あい） ヴァイオリニスト

1998年12月生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。2007年ズキメソードテンチルドレンとして国内各地の演奏会で独奏。第69回全日本学生音楽コンクール高校の部名古屋大会第1位、全国大会第3位。これまでに長谷川敏子、豊田耕兒、林茂子、清水高師の各氏に師事。名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業後、東京藝術大学音楽学部器学科1年に在学中。